

由良町で『避難所運営訓練HUG』を実施しました！

日時：2014年12月21日（日）（13：00～15：30）

場所：由良町役場3階大会議室

参加者：自主防災会の皆様・由良9地区の皆様・白崎6地区の皆様
衣奈4地区の皆様・役場職員の皆様

ファシリテーター：摂南大学大学院2名+学部生10名+教員1名（計13名）

今回の見どころ

昭和南海地震が由良町を襲った12月21日。私たちは由良町で避難所運営訓練HUGを実施させて頂きました。今回は由良9地区、白崎6地区、衣奈4地区を対象とし、それぞれの地区の避難所となる小中学校図面を用い、ゲームを展開しました。全7班で異なる図面を用いましたが、これが本当の災害時の縮図だと思います。学校の規模や世帯数によって、同じ災害を受けても対応が異なります。また、和歌山県庁からも見学に来られ、多くのマスコミ取材も受けました。

プログラム実施風景



班ごとに分かれてもらい、学生からゲームの趣旨説明をしました。



それぞれの図面を把握して頂き、ゲームを開始しました。



避難者をどこに避難させるのか考えておられます。



情報を整理するためにメモを取られているようです。



「HUGを終えて」の一言を書いて頂き、壁に貼り付け、班ごとの意見を共有しました。



最後に班の代表者に班の考えや感想を発表していただきました。

プログラム実施結果

HUGを経験するのは初めての方が多く、最初は、避難所のルール決定に戸惑いの様子が見られました。しかし、ゲームが進むにつれ役割分担をすすめ、対応がスムーズになりました。住民さんからは、「この避難所運営訓練HUGを通して事前の災害への準備がとても大切だということや防災意識をより高める機会となった」とのご意見を頂きました。また、私たちファシリテーターも住民さんの意見や考えを聞き、改めて防災を考えるよい機会になりました。

今回のプログラムにご参加頂いた由良町の皆様、ありがとうございました。また、今回のプログラム実施にあたり、由良町役場には多大なるご協力を頂きました。心から感謝申し上げます。